

「臨床研究・治験活性化に関する検討会」

臨床研究・治験活性化ワーキンググループ 業務分担について (案)

○座長を除く構成員が、以下の 1 グループ～ 4 グループのいずれかに所属する。
(重複も可とする。)

<作業内容>

- ・目標設定が可能な項目については、具体的な目標を設定する。
- ・「臨床研究・治験活性化 5 か年計画 2012」に基づいて、今後 5 か年で取り組むべき内容を、簡潔かつ明瞭に記載する(目先ではなく、広い展望で考える)
- ・「新たな治験活性化 5 ヶ年計画」の評価に資する資料の作成

	構成員	分担内容
1 G	○渡辺 (青野) 伊藤 榎本 小林 (史) 川崎	1. 9 年間の活性化計画を踏まえた更なる飛躍と自立 (1) 症例集積性の向上 (2) 治験手続きの効率化 (5) コストの適正化
2 G	○花岡 氏原 栗山 小林 (信) (中島) (鵜飼) 山本 (学)	(3) 医師等の人材育成及び確保 (4) 国民・患者への普及啓発 (6) IT 技術の更なる活用等
3 G	○山本 (晴) 赤堀 後澤 笠井 小林 (信) 小林 (史) 田代 山崎	2. 日本発の革新的な医薬品、医療機器等創出に向けた取組 (イノベーション) (1) 臨床研究・治験等の実施体制の整備 (2) 臨床研究等における倫理性及び質の向上 (3) 開発が進みにくい分野への取組の強化等 (4) 大規模災害が発生した際の迅速な対応
4 G	○伊藤 青野 赤堀 鵜飼 後澤 中島 山本 (学)	3. 「新たな治験活性化 5 ヶ年計画」の評価に資する資料の作成

(○はグループリーダー)